

話題の講義ライブ  
LIVE 2012

Today's Program 英語教育学概論

DAITO BUNKA UNIVERSITY  
大東文化大学



外国語学部 英語学科

5.18.Fri. at Higashimatsuyama  
10:55~12:25  
静哲人 教授



実践英語は身体を使って習得  
歌う英語の講義!

**講義の流れ**  
毎回、英語教育の方法について書かれた100語程度の課題文を暗記して講義に臨む。前半は覚えた課題文について、学生同士ペアワークで確認した後、書き取り。後半はCMソングやポプスなど音楽を使って発音や音節の練習を行う。ペアワークや英語の歌を使った個別指導など、学生が主体的に動きながら「使える英語」を身につけることができる。

英語を使って

英語教育のノウハウを身につける

「じゃあ発音を確認するから『グルグル』隊形をとって!」。静先生が指示を出す、40人ほどの学生たちは立ちあがって列を作り、ほどなくして教室の中に一つの大きな人の輪ができた。静先生は輪の内側に入り、学生の前に立って順番に動いていく。学生がしゃべる英語を聴き、きちんと発音できているか一人ひとり確認していくのだ。「LとRの違いに注意して!」歯の裏から舌を離さないで。学生の口の形を見ながら、先生の厳しさが飛ぶ。

静先生独自の個別指導授業、名づけて「グルグルメソッド」である。先生が学生一人につき数秒で発音をチェックし、できた学生には「マル」といい、できない学生には「アド」をもらうために、何度も同じ英文を繰り返して練習し、隣の学生と発音を確認しながら、次に先生が回ってくるのを待つ。大学の講義といえば、大教室で前を向いて静かに座り、黙って先生の話を聴くというイメージがあるが、静先生の講義を見るとそうした「常識」はたちまち覆される。講義の合間に、暗唱、ペアワーク、グルグルワークなどさまざまな活動が挟み込まれていて飽きることがない。

静先生独自の個別指導授業、名づけて「グルグルメソッド」である。先生が学生一人につき数秒で発音をチェックし、できた学生には「マル」といい、できない学生には「アド」をもらうために、何度も同じ英文を繰り返して練習し、隣の学生と発音を確認しながら、次に先生が回ってくるのを待つ。大学の講義といえば、大教室で前を向いて静かに座り、黙って先生の話を聴くというイメージがあるが、静先生の講義を見るとそうした「常識」はたちまち覆される。講義の合間に、暗唱、ペアワーク、グルグルワークなどさまざまな活動が挟み込まれていて飽きることがない。



講義でカラオケ指南?  
歌って覚える英語の音節

講義で使う教材は難しい教育メソッドだけではない。「音節について説明しましょう」といって、先生がプロジェクトに映し出したのは、何と3人組ボーカルユニット・パプームの映像。彼女たちのヒット曲「レーザービーム」を例に、静先生は英語の音節の特徴を解説し始める。「この曲では歌詞の『ストレイト』というところに、一文字ずつ音符を割り当てているけど、本来、英語のストレイトは1音節。英語のカラオケに挑戦しても、どんどん曲が進んでしまつてうまく歌えないという人は、1音節の単語なのに音節を分けて歌おうとするから歌えないんです。たとえば、このメロディに英語の歌詞を当てはめると……」

そうやって、「レーザービーム」の歌詞を先生が英語に直したテキストをプロジェクトに映し出し、先生自身がアカペラで歌ってみせる。「♪イツツ・ソー・ヴェリー・ストレイト、メイクス・マイ・ハート……(ストレイト、ドキドキする)。学生たちからは「おー」という感嘆の声。おなじみの日本語の曲が流暢な英語で歌われる新鮮さ、驚きが、学生をどんどん授業へ引き込んでいく。



講義室は  
英語と熱気で充満!!

先生が歌うと、次は学生の番だ。リズムや音節に合わせて、先生が手に持ったカスターネットをカチカチと鳴らす。先生のアドバイスどおり音節を区切って歌ううちに、学生たちの発音がみるみる上達していくのがわかる。

次はレディーガガのヒット曲「ポーン・ディス・ウェイ」。PVを見ながら、「ビューティフルの音節はいくつ?」と音節を確認していく。何度か聞いた後、学生はふたたび輪を描いて「グルグル」隊形をつくり、学生が歌うのを聴きながら、静先生が一人ひとりの発音や音節をチェックしていく。その間も、他の学生たちはペアで向かい合い、手拍子でリズムをとりながら練習に励む。「英語の歌は英



VOICES 学生の声  
of University Students



清水 彩希さん(中央)  
外国語学部 英語学科2年  
発音について徹底的にチェックしていただけるので、指導を受けるたびに英語の力が身につくことを実感します。講義で鍛えた英語力を生かして、将来は空港のグランドスタッフとして活躍したいと思っています。

水野 晴香さん(左)  
外国語学部 英語学科2年  
英語の講義はたくさんありますが、ここまで発音について厳しく指導していただけるものはありません。歌あり活動ありの風変わりな内容なので、最初は緊張しましたが、活動を通して友だちとも仲良くなり楽しく学んでいます。

福田 源樹さん(右)  
外国語学部 英語学科2年  
静先生は学生一人ひとりについて発音をチェックしてくださるので、自分の英語力がどんどん高くなっているのがわかります。友だちと協力し合いながら楽しく学べるのも魅力です。

大東文化大学

資料の請求および  
お問い合わせ先

URL <http://www.daito.ac.jp>  
〒175-8571 東京都板橋区高島平1-9-1 入試広報課  
TEL 03-5399-7800 e-mail [nyushi@ic.daito.ac.jp](mailto:nyushi@ic.daito.ac.jp)



しずかてつひと  
静 哲人先生  
大東文化大学外国語学部教授。東京外国語大学外国語学部卒業、コロンビア大学ティーチャーズカレッジ修士課程修了、レディング大学言語学博士課程修了。大妻中学校・高校教諭、大妻多摩高校教諭、関西大学総合情報学部助教授、関西大学外国語教育研究機構助教授、同外国語学部教授、埼玉大学教育学部教授等を歴任、現在に至る。英語能力測定評価研究会会長。主な著書に「英語授業の心・技・体」(研究社)、「絶対発音力」(ジャパンタイムズ)、「英語テスト作成の達人マニュアル」(大修館書店)などがある。

- 文学部** [ 沿革・歴史 ]  
**経済学部** 1921年 当時の国会である帝国議会議に「漢学振興二関スル建議案」が可決  
**外国語学部** 1923年 決議をもとに大東文化協会を設立、大東文化学院を設立  
**法学部** 1949年 新制大学に移行、東京文政大学(文政学部)設置  
**国際関係学部** 1951年 法人名を学校法人文政大学、校名を文政大学と改称  
**経営学部** 1953年 校名を大東文化大学と改称  
**環境創造学部** 1960年 法人名を学校法人大東文化学園と改称  
**スポーツ・健康科学部** 1962年 文政学部を文学部と経済学部へ改組  
 1967年 東松山校舎開設  
 1972年 外国語学部設置  
 1973年 法学部設置  
 1986年 国際関係学部設置  
 2000年 経営学部設置  
 2001年 環境創造学部設置  
 2005年 スポーツ・健康科学部設置

- [ オープンキャンパス情報 ]**  
 6月10日(日) 板橋キャンパス※「推薦入試対策講座」実施  
 7月21日(土) 東松山キャンパス※「就職関連イベント・学科個別相談」実施  
 7月22日(日) 東松山キャンパス※「体験授業・学科個別相談」実施  
 7月29日(日) 板橋キャンパス※「女子・保護者向けイベント」同時開催  
 8月25日(土) 東松山キャンパス※「一般入試対策講座」実施  
 8月26日(日) 東松山キャンパス※「体験授業」実施  
 10月7日(日) 東松山キャンパス※「推薦入試対策講座」実施  
 12月2日(日) 板橋キャンパス※「外部機関との提携による模試」実施

開催時間10:00~15:00(7、8月は16:00まで)  
※詳細は大学ホームページをご覧ください